

自衛隊神奈川地方協力本部

小学生に「命の授業」

神奈川地方協力本部厚木募集案内所長の石井3海佐は、7月10日(月)、大和市立桜丘小学校の6年生57名に対し、3、4時限目の時間で総合学習「命の授業」を行いました。授業の目的は、国民の命を守り、危険な環境下でも命を失うことなく活動する自衛官から、命に対する向き合い方を聞き、命の大切さを学ぶというものでした。

自衛官は、危険な環境でも落ち着いて任務ができるよう、平素の訓練で安全な手順や操作を繰り返す身に着けること、信頼できる仲間がいるからこそ独りでも不安なく任務が遂行できることなどが説明されました。また、日常において安全に生活する心構え、命あることに対する感謝について生徒と共に討議する様子が見られました。生徒達は過酷な活動環境に驚きの声を上げ、失敗談や事故の話では深く沈黙し、命が助かった時の喜びには安心のため息が聞こえるなど、常に素直な反応を示してくれました。授業の最後には、「自分の命をかけてまで、なぜ国民の命を守るのですか」「最も辛かったのはどんな時ですか」など、時間一杯まで多くの質問が投げかけられ、関心の高さが感じられました。

後日生徒から手紙が届き、命を大切にすることの気付きや自衛隊の活動を応援する気持ちが込められておりました。中には将来自衛官になりたいとの感想も見られ、授業によって自衛隊の活動に対する理解が十分に促進されたものと感じています。



市場にて広報イベント

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所(所長 荒木3陸佐)は7月15日(土)、陸上自衛隊の第129地区警務隊(久里浜駐屯地)と第1高射特科大隊(駒門駐屯地)の協力を得て、横浜市金沢区にある商業施設「プランチ南都市場」の施設中央のマーケット広場と海辺広場の二つの会場において、4台の自衛隊車両(高機動車・警務用バイク・94式除染装置・警務用73式小型トラック)を展示した。金沢区には基地等がなく自衛隊になじみがないため、普段接する機会が少ない自衛隊車両や自衛官とのふれあいを楽しんでもらえたようだった。

会場には神奈川地本のキャラクター「はまちゃん」と「たま」も駆けつけ、「かわいい」と子供たちだけでなく大人にも人気で、来場者と一緒に写真を撮るなど自衛隊のPRを行った。また、神奈川県横浜南地区自衛隊家族会会長や横浜上大岡募集相談員会長も会場に駆け付け猛暑の中、広報に励む広報官や支援隊員を激励した。上大岡募集案内所は「今後も地域と密接に連携し、多くの市民に自衛隊を理解してもらえたい」として開催し、防衛基盤の拡充を図っていききたい」としている。



市街地広報を一齐に実施

令和5年度7月21日(金)、神奈川地方協力本部(本部長 平井克英一等海佐)は、陸海空自衛隊が一体となって採用広報活動を展開する全国統一の夏季採用広報キャンペーン「陸海空自衛隊サマー・フレンドシップキャンペーン」の一環として、市街地広報を実施した。本部と12の出張所等全てが参加し、県内13か所の駅周辺にてチラシやステッカー等を配布した。また、地本キャラクター「はまちゃん」も駆け付け、写真撮影に応じるなど住民らと交流を図りながら広報活動に励んだ。

チラシを受け取った男性は「自衛隊のイベントなどには行ったことがなかったけれど、今度機会があれば行ってみたい」と話し、また別の女性は「姉が海上自衛官です」と快くアンケートに回答してくださった。

自らも実施場所を回り、学生らにチラシを手渡しした平井本部長は「全国一斉のキャンペーンにより募集広報の相乗効果を図るとともに、厳しい募集環境を共に戦う一体感を醸成できれば」と話す。

サマーキャンペーンをきっかけにお一人でも多くの方に自衛隊の魅力を知っていただければ、神奈川地方協力本部が一丸となって取り組んでいきたい。

